

(別添1)

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系羽後大戸川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514		
事業名	雄物川水系羽後大戸川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (施工場所 (所在地))	秋田県が管理する雄物川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県羽後町赤袴 地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度~令和6年度 (3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3)  ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載	令和2年度	0		第3種建設発生土  ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和3年度	0		
	令和4年度	100		
	令和5年度	600		
	令和6年度	600		
	計	1,300		
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	5,100	5,100	0
	令和5年度	5,100	5,100	0
	令和6年度	5,000	5,000	0
	計	15,200	15,200	0
事業の必要性、 緊急性	・雄物川水系羽後大戸川は羽後町、湯沢市に位置し流路延長15.6kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・羽後大戸川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は1.3千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度~令和6年度の3年間で、河川環境の景観や魚類等に配慮しつつ1.3千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等)			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第3種建設発生土 (見込み)			

(別添1)

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系西馬音内川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514		
事業名	雄物川水系西馬音内川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (施工場所 (所在地))	秋田県が管理する雄物川水系西馬音内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県羽後郡山~羽後町向下川原 地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度~令和3年度、令和5年度~令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m <sup>3</sup> )  <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m<sup>2</sup>) 書きで記載</small>	令和2年度	1,100		第4種建設発生土  <small>※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。</small>
	令和3年度	1,700		
	令和4年度	1,100		
	令和5年度	1,000		
	令和6年度	1,000		
	計	5,900		
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	13,300	13,300	0
	令和3年度	13,500	13,500	0
	令和4年度	10,300	10,300	0
	令和5年度	14,400	14,400	0
	令和6年度	14,000	14,000	0
	計	65,500	65,500	0
事業の必要性、緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>雄物川水系西馬音内川は羽後町に位置し流路延長19.1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>西馬音内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は5.9千m<sup>3</sup>であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度~令和3年度、令和5年度~令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ5.9千m<sup>3</sup>の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年)</li> <li>河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等)</li> <li>施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等)</li> </ul>			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む</li> <li>※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み)</li> </ul>			

(別添1)

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 秋田県		
		市区町村名		
		河川名 雄物川水系皆瀬川 (一級河川)		
		担当課室名 河川砂防課		
		連絡先 018-860-2514		
事業名	雄物川水系皆瀬川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する雄物川水系皆瀬川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県湯沢市川連町久保~稲庭町岩城 地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度~令和6年度 (2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3)  ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載	令和2年度			第4種建設発生土  ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和3年度			
	令和4年度			
	令和5年度		2,000	
	令和6年度		2,000	
	計		4,000	
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度			0
	令和3年度			0
	令和4年度			0
	令和5年度	14,400	14,400	0
	令和6年度	14,000	14,000	0
	計	28,400	28,400	0
事業の必要性、 緊急性	・雄物川水系皆瀬川は湯沢市に位置し流路延長33.5kmの一級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・皆瀬川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は4.0千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和5年度~令和6年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ4.0千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)			
その他	・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土(見込み)			